

令和2年度

八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金活用事業

SDGsサミット

in 八戸

～2030への提言～

高

青森県立八戸高等学校 74回生

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう




6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に

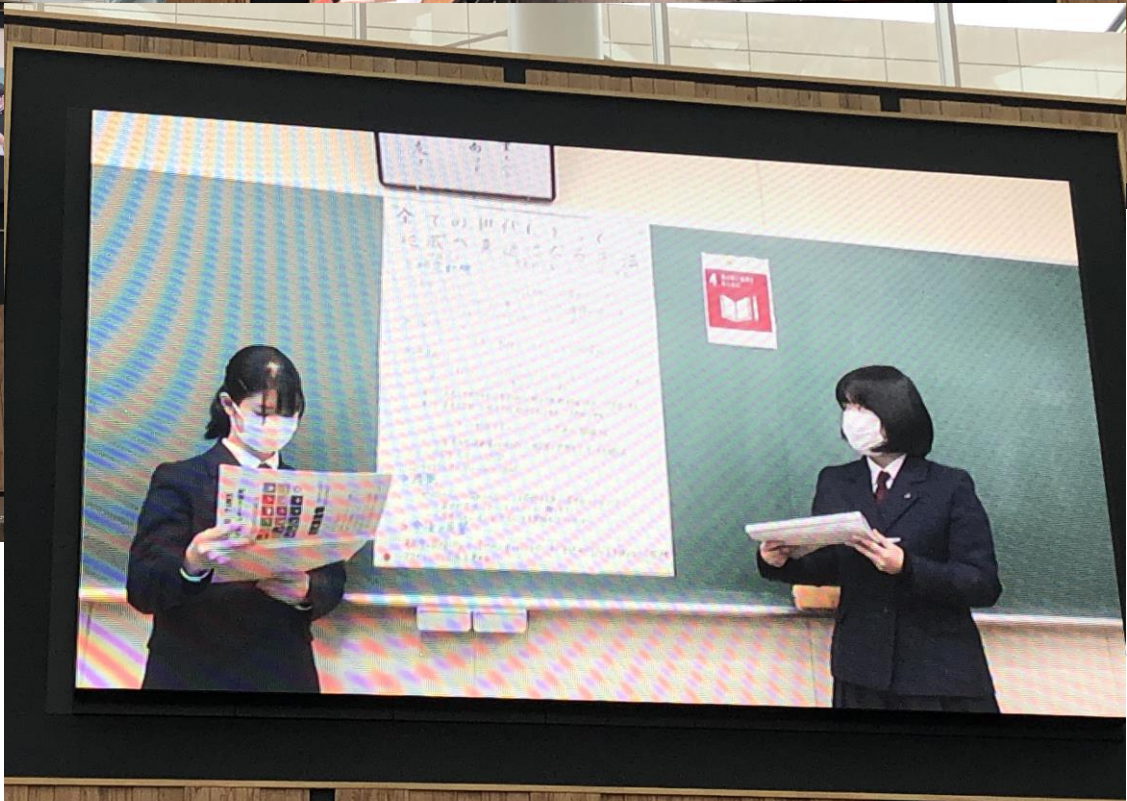
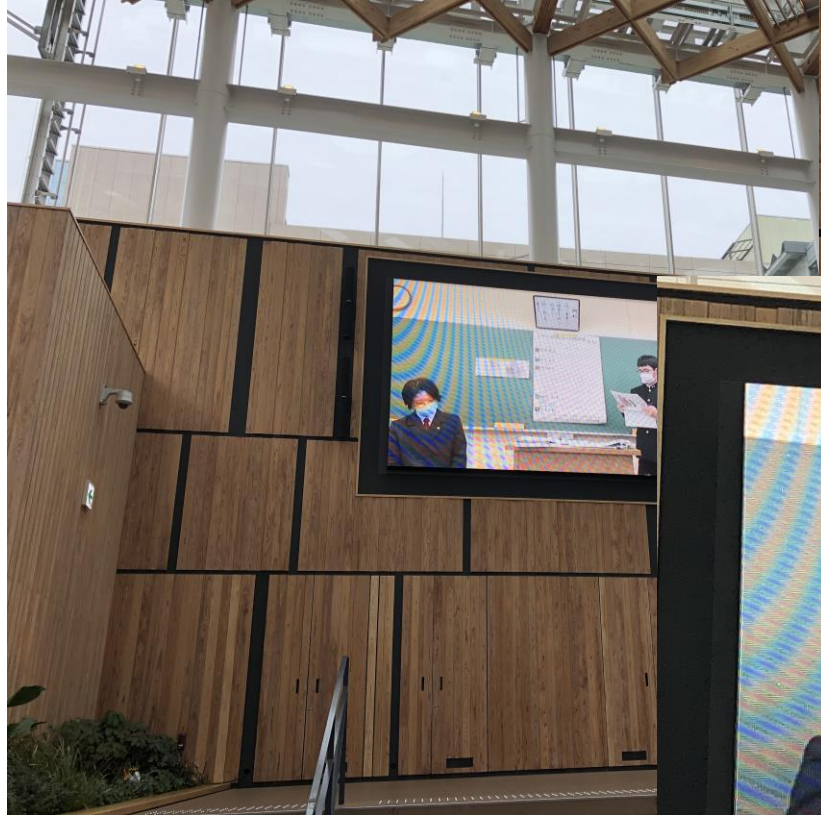


17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



公共交通機関の利用率を上げるためには

乗車券の知名度を上げるための取り組みが必要

○実践すること

- ・チラシを作り、八戸高校内で宣伝

○行政に提案すること

- ・八戸圏域の学校で宣伝



住み続けられる町に



○研究目的

昨年度、三八地域活性化協議会[U20]「KIRARI☆八戸プロジェクト」に参加して、自分たちが暮らす地域や社会の「未来」について考えたときに、私たちはより多くの人に八戸の食べ物や伝統芸能、自然の魅力を伝えることで、八戸を元気づけたいと考え、この研究をスタートさせた。

○仮説

- ①街中で行える年齢・性別関係なく参加できるイベントを企画し、人と人が交流する機会を作ることによって町に活気が生まれるのではないかと。
- ②大人と子供で伝える内容や方法を変えることで、八戸市の魅力を効果的に伝えられるのではないかと。

○手段

①年齢・性別関係なく参加できるイベントを企画する。

《場所》 マチニワ

《内容》 クイズ大会(○×クイズ形式)

- ・ 国宝、郷土料理など八戸に関することから、おすすめの店といった生活に密着した内容など幅広く出題し、優勝者には地元の特産品をプレゼントする。

※新型コロナウイルス流行のために、実際に行うことはできなかった。

「八戸クイズ大会」概要

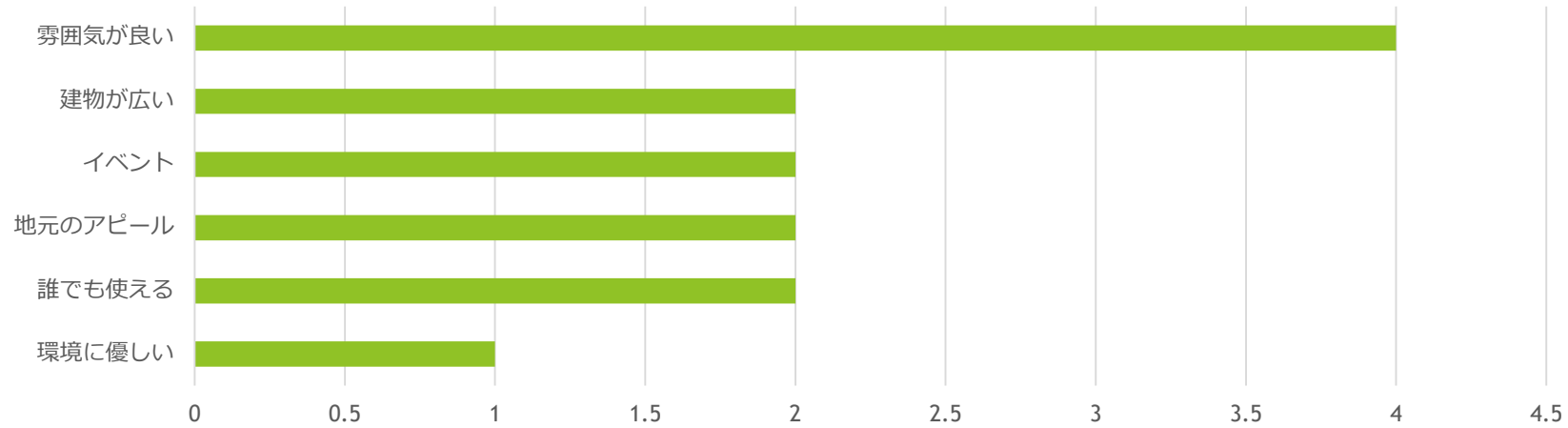
- ▶ アンケートに答えてもらう際、八戸にはどんな特徴があるのか、魅力があるのかを考える、また再確認する機会になる
- ▶ クイズ形式であることで、楽しく八戸の魅力を知ることができる
- ▶ 大会を通して、市民同士でコミュニケーションやかかわりが生まれる
- ▶ 大会運営と市民、双方の情報発信になる
- ▶ マチニワを活用できる

②アンケートをとる。

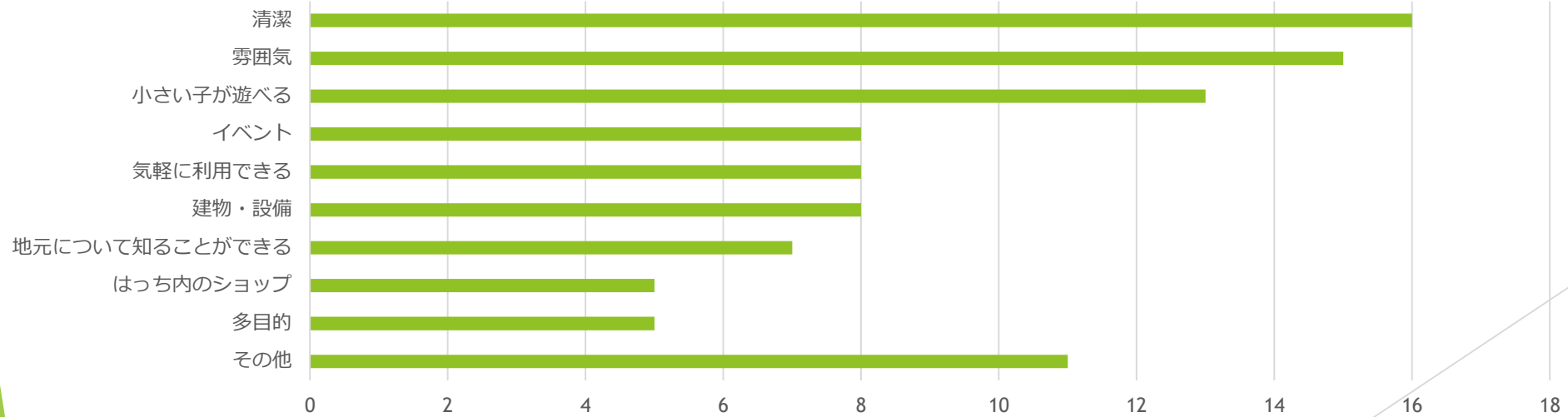
八戸高校2学年生徒・保護者にアンケートをとり、より多くの人に情報を伝えることができる方法を調べる。

- 《質問項目》
1. 学年、性別は？
 2. 住んでいる地域は？
 3. はっち・マチニワを利用したことがあるか？
 4. はっち・マチニワを利用して、良いと思ったこと、改善してほしいことはあるか？
 5. あなたが知ってるイベントは？
 6. 八戸のイベントの情報をどのように入手しましたか？

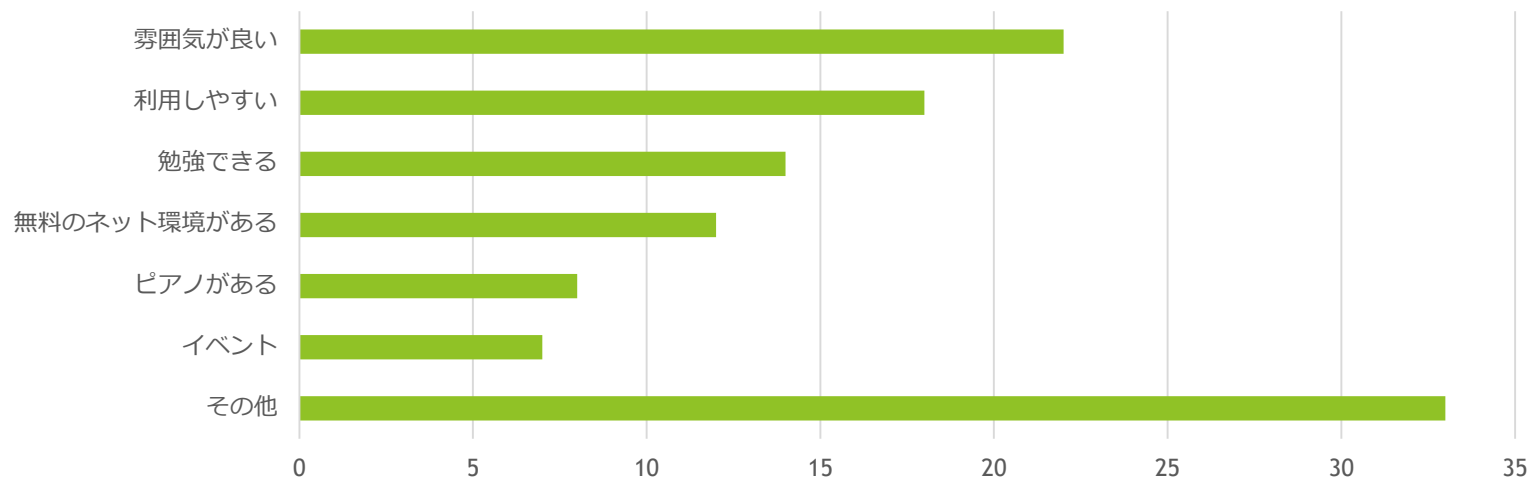
はっち・マチニワの良い点 (保護者:男性)



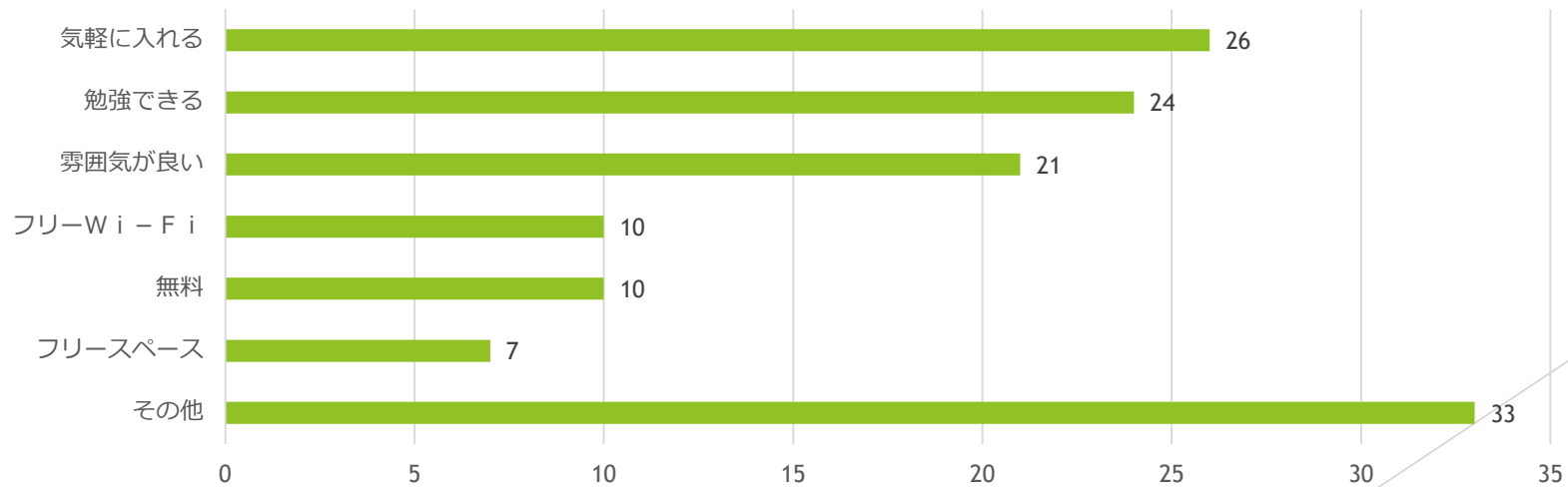
はっち・マチニワの良い点 (保護者:女性)



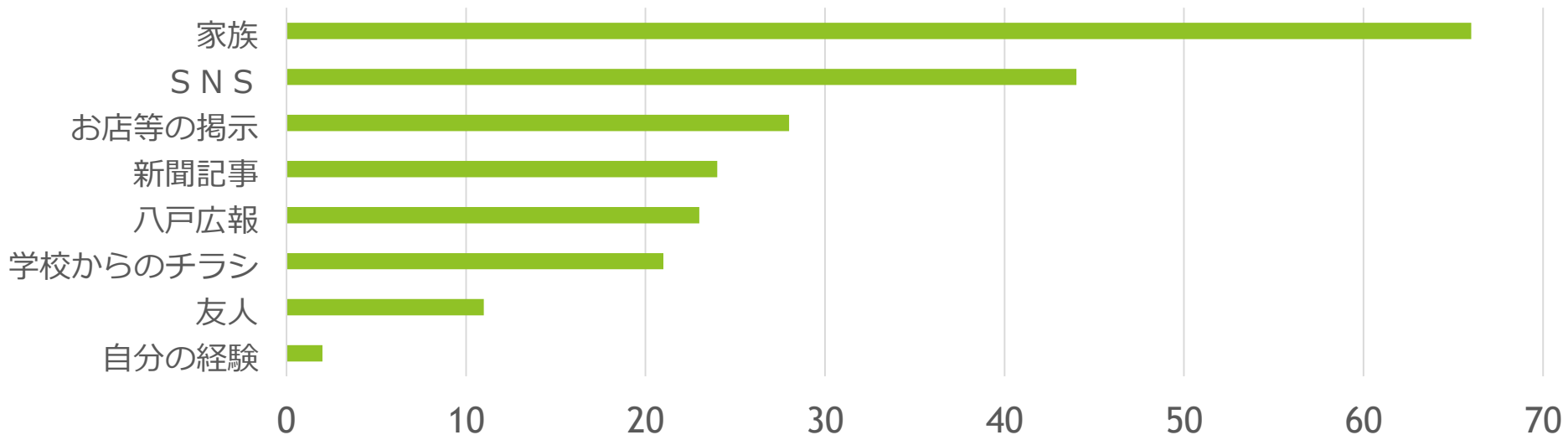
はっち・マチニワの良い点 (生徒:男性)



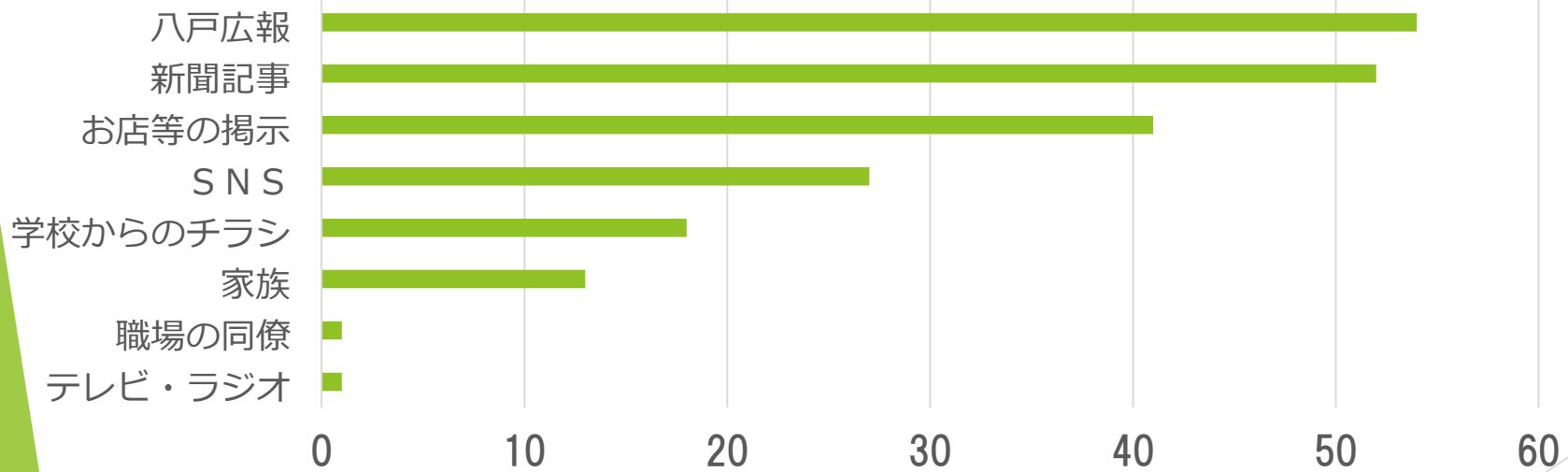
はっち・マチニワの良い点 (生徒:女性)



イベント等の情報をどこから入手しましたか
＜八戸高校2学年生徒＞



イベント等の情報をどこから入手しましたか
＜八戸高校2学年保護者＞



○今後の展望

- ・ アンケート結果を元に、新型コロナウイルス感染防止に対応した、イベントを考える。
例) オンラインで実施できるイベント
- ・ 市外の人にも八戸をアピールする方法を考える。
例) コロナの流行が収まったときに、訪れたいと思えるような情報を伝える。
- ・ 紙媒体やSNSで伝える情報を考える。

八戸に住むどの世代にも

地元を知る機会

を作ります



現状、八戸には情報を発信・交換できる場所が少ない。
そのため、地元の魅力に気づかない人が多い。

目標 11：住み続けられるまちづくりを



SDGsとは、2030年に向けて世界が合意した、
17の「持続可能な開発目標」です。

○参考資料・謝辞

kanaeru はちのへ no.4 2020 jun.

八戸学院大学

八戸市役所

NPO法人Reconnect（八戸ファミリークリニック）

八戸高等学校 2 学年生徒・保護者の皆様

にご協力頂きました。心より感謝申し上げます。